

ごあいさつ

桜井市は、飛鳥時代以前において、13もの天皇の宮があったと伝えられる、古代ヤマト王権発祥の地、まさに「日本の国のはじまりの地」であり、四方を豊かな自然に囲まれ、また、箸墓古墳や纏向遺跡に代表される史跡や由緒ある社寺仏閣を多数有する、歴史と自然に恵まれたまちです。

平成28年には、市制60周年を迎えることができましたが、一方で、市の人口は平成11年をピークに減少傾向にあり、それと同時に少子高齢化も進んでいる状況となっています。このような状況を打開するため、国の地方創生の動きに呼応する形で、当市では、平成27年度から令和元年度までを計画期間とする、第1期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。そして、第6次桜井市総合計画が、令和3年度を計画の始期とすることから、第1期総合戦略の計画期間を1年間延長したうえで、人口減少に歯止めをかけ、地域経済を活性化させるための地方創生のまちづくりに取り組んできました。

そして今、国の総合戦略改訂を踏まえ、当市においても、働く場の創出・国内外からの来訪の促進・子育て環境の充実・安心して暮らせるコンパクトなまちづくりを政策の4つの柱に据えて、更なる地方創生の取組を推進するため、令和3年度からの5年を期間とする、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。

第2期総合戦略では、国や県の総合戦略や、市の最上位計画である第6次桜井市総合計画とも整合性をとったうえで、これまでの地方創生の取組をさらに充実・深化させるとともに、桜井市の個性や強みを活かした具体的な施策を打ち出すことで、持続的・長期的なまちの発展を図り、桜井市に住む全ての人が住んでいてよかったと思えるまち、「日本一住みたいまち さくらい」を実現するため、全身全霊をかけて取組を加速させてまいります。

結びに、桜井市における地方創生の取組を推進するため、市民の皆様の変わらぬご支援・ご協力をお願いいたしますとともに、本総合戦略の策定にあたり、貴重なご意見・ご提案をいただきました関係各位に対しまして、心より御礼申し上げます。

令和3年4月
桜井市長

松井 正剛

